

き そ きょういく ほ しょうがっかい だい かいけんきゅうたいかい
基礎教育保障学会 第8回研究大会

プログラム

2023年9月1日(金)～9月3日(日)

ふくおかだいがく
福岡大学

こうえん ふうおかけんきょういくいいんかい ふうおかしきょういくいいんかい きたきゅうしゅうしきょういくいいんかい
後援：福岡県教育委員会、福岡市教育委員会、北九州市教育委員会、

さがけんきょういくいいんかい ながさきけんきょういくいいんかい おおいたけんきょういくいいんかい
佐賀県教育委員会、長崎県教育委員会、大分県教育委員会

あさひしんぶんしゃ ほか かんけいきかん しんせいちゆう
朝日新聞社、その他、関係機関に申請中

かい じょう ふくおかだいがく
会 場 福岡大学

ふくおかけんふくおかしじょうなんくななくま ちかてつななくません ふくだいまええき げしや
(福岡県福岡市城南区七隈8-19の1/地下鉄七隈線「福大前駅」下車すぐ)

かいさいび ないよう
開催日・内容

【9月1日(金)】 オプショナルプログラム 14:00~16:00

フィールドワーク「九州唯一の公立夜間中学校「福岡きぼう中学校」を学ぶ」

*このプログラムは、^{かいいん}会員のみのオプショナルプログラムです。

しゅし
趣旨:

きゅうしゅう やかんちゅうがく せっちけんとう すす こんかい
九州においても、夜間中学の設置検討が進んでいます。今回のフィールドワークで
は、2022年4月に先駆けて開校した福岡市の福岡きぼう中学校の取り組みに学びま
す。開校準備から運営にいたる課題や展望について、現場にふれながら考^{かんが}えていくこ
とを目的とします。この学校は、福岡市教育センター(教育関係者の研修施設)内に
設置している点でもユニークです。当日は、学校見学とともに校長と教頭による説明と
いけんこうかん おこな
意見交換を行います。

ほうこくしゃ
報告者:

うちだ ひさのり ふくおかしりつふくおか ちゅうがっこう こうちょう だい かいけんきゅうたいかいじっこういん
内田 久徳さん(福岡市立福岡きぼう中学校 校長/第8回研究大会実行委員)

たしろ たかゆき ふくおかしりつふくおか ちゅうがっこう きょうとう だい かいけんきゅうたいかいじっこういん
田代 貴之さん(福岡市立福岡きぼう中学校 教頭/第8回研究大会実行委員)

しかい か のう ひであき めいおうだいがく きょうじゅ だい かいけんきゅうたいかいじっこういん
司会:嘉納 英明さん(名桜大学 教授/第8回研究大会実行委員)

【9月2日(土)、9月3日(日)】^{けんきゅうたいかい} 研究大会 スケジュール

<p>9月2日(土)</p> <p>9:00~</p> <p>受付</p>	<p>じゆうけんきゅうはっぴょう 自由研究発表・</p> <p>じっせんほうこく 実践報告</p> <p>9:30 ~12:30</p>	<p>ちゆうしょく 昼食</p> <p>りじかい 理事会</p> <p>12:30 ~ 14:30</p>	<p>ワークショップ</p> <p>「市民リテラシ ーの醸成~すべ ての人に居心地 の良い社会を」</p> <p>13:00 ~14:20</p>	<p>そうかい 総会</p> <p>14:30 ~15:30</p>	<p>げんちこうきかく 現地校企画</p> <p>「福岡の基礎教育を支え る実践リレートーク」</p> <p>15:30 ~17:30</p>	<p>こうりゅうかい 交流会</p> <p>18:00 ~19:30</p>
<p>9月3日(日)</p> <p>9:00~</p> <p>受付</p>	<p>とくていかにだいけんきゅう 特定課題研究</p> <p>「多様なマイノリティにとって リテラシーとは何か?」</p> <p>9:30 ~12:00</p>	<p>ちゆうしょく 昼食</p> <p>12:00 ~ 13:30</p>	<p>こくせいちようさかつよう 国勢調査活用プロジェクト</p> <p>こうかいがくしゅうかい 公開学習会</p> <p>13:30~15:00</p>			

受付案内

受付設置場所: 10号館 1階 玄関ホール

受付時間 : 9月2日(土)、9月3日(日) 両日とも、9:00より受付開始

たいかいさん か ひ
大会参加費 どうじつ うけつけ しはらい
当日、受付でお支払ください。

かい いん
会 員：1,000 円

かいいんがい いっぱんさん か
会員外(一般参加)：2,000 円(識字・日本語教室、夜間中学等の学習者は無料)

だいがくせい だいがくいんせい
大学生・大学院生：500 円

さん か む りょう
オンライン参加：無 料

どうじつしりょう たいめんさんかしゃ はいふ
※当日資料は対面参加者のみに配布します。またオンライン参加者の当日の質疑

おうとう たいおう ごじつ はっぴょうしゃ ちやくせつ ねが
応答については対応しかねますので、後日、発表者に直接していただくようお願い

します(詳細については、別途、お知らせします)。

お弁当・交流会参加費 きぼうしゃ うけつけ しはらい
希望者のみ受付でお支払ください。

べんどう じぜんもうしこみせい はんばい
※お弁当は事前申込制になります。当日の販売はありません。

ごうかんげんかん うけつけふきん じころ よてい
10号館玄関ホールの受付付近で、11時頃からお渡しする予定。

こうりゅうかい けいしょくだい さんかひ えん のもの かいじょう かくじ
※交流会は、軽食代として参加費1500円(軽食あり)です。飲み物は、会場で各自

こうにゆう どうだんしゃ はっぴょうしゃ はな さんか
で購入するシステムです。登壇者や発表者と話せます。どなたでも参加できます。

かいじょういちらん
会場一覧

しきちない きんえん
※敷地内は禁煙です。また会場でのコピーはできません。

そうかい げんちこうきかく とくていかにだいけんきゅう
(1) 総会・現地校企画・特定課題研究

こくせいちょうさかつよう こうかいがくしゅうかい ごうかん だいきょうしつ
/ 国勢調査活用プロジェクト公開学習会 : 10号館 1011 大教室

じゆうけんきゅうはっぴょう じっせんほうこく だい しつ ごうかん きょうしつ
(2) 自由研究発表・実践報告 第1室 : 10号館 1013 教室

じゆうけんきゅうはっぴょう じっせんほうこく だい しつ ごうかん きょうしつ
(3) 自由研究発表・実践報告 第2室 : 10号館 1014 教室

じゆうけんきゅうはっぴょう じっせんほうこく だい しつ ごうかん きょうしつ
(4) 自由研究発表・実践報告 第3室 : 10号館 1015 教室

てんじ かつどうしょうかい ごうかん げんかん
(5) パネル展示(活動紹介) : 10号館 玄関ホール

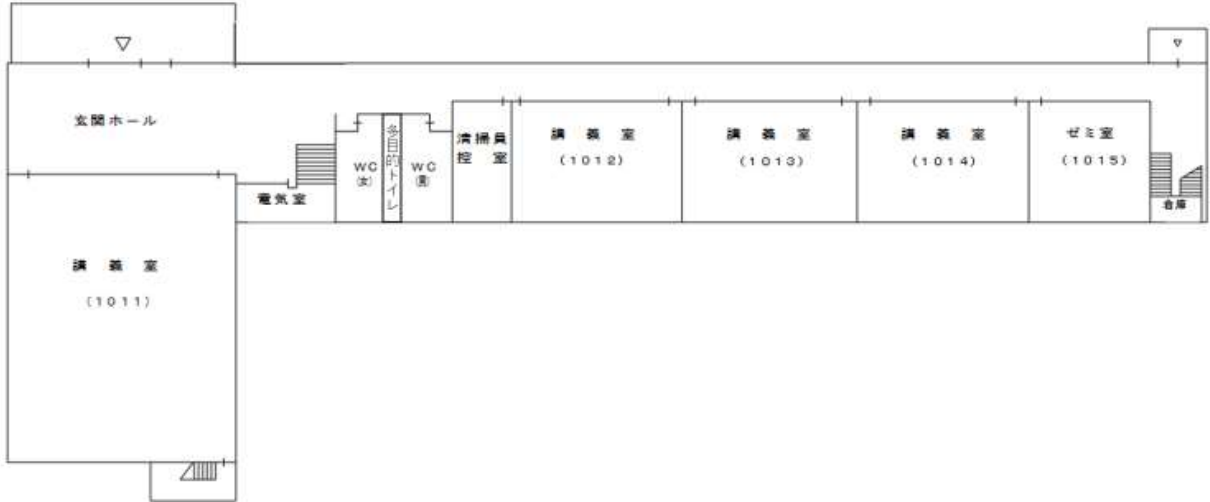
たいかいほんぶ しちょうへや ごうかん きょうしつ
(6) 大会本部/オンライン視聴部屋 : 10号館 1012 教室

(7) ワークショップ : オアシス

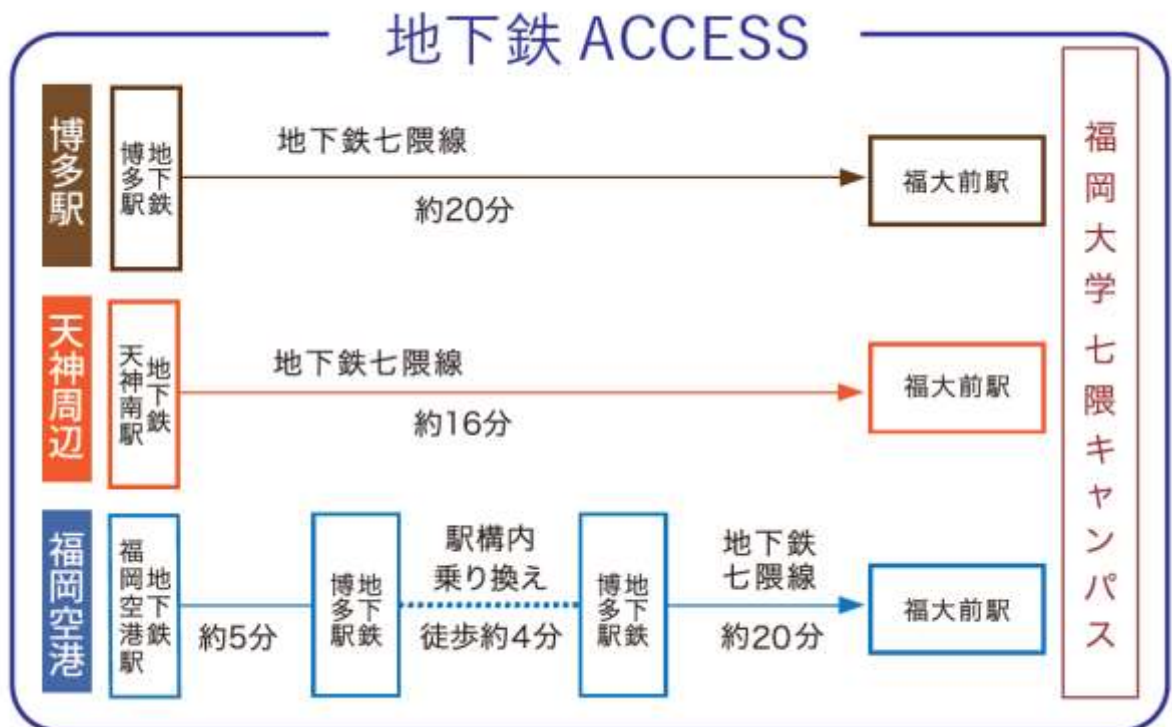
こうりゅうかい : オアシス
(8) 交流会

いっばんさんかしゃきゅうけいしつ : オアシス
(9) 一般参加者休憩室

ごうかん かいへいめんず
10号館1階平面図



ふくおかだいがく せいもん
福岡大学 正門までのアクセス



ちかてつななくません ふくだいまええき げしゃ ばんでぐち
地下鉄七隈線「福大前駅」下車 1番出口(エスカレーターあり)

くるま ばあい ばんでぐち しんごう おうだんほどう
車いすの場合は、エレベーターで2番出口になります。信号のある横断歩道があります。

もよ ばんでぐち がくない ばいてん きゅうぎょうちゅう
最寄りのコンビニは2番出口から500m。学内の売店は休業中。

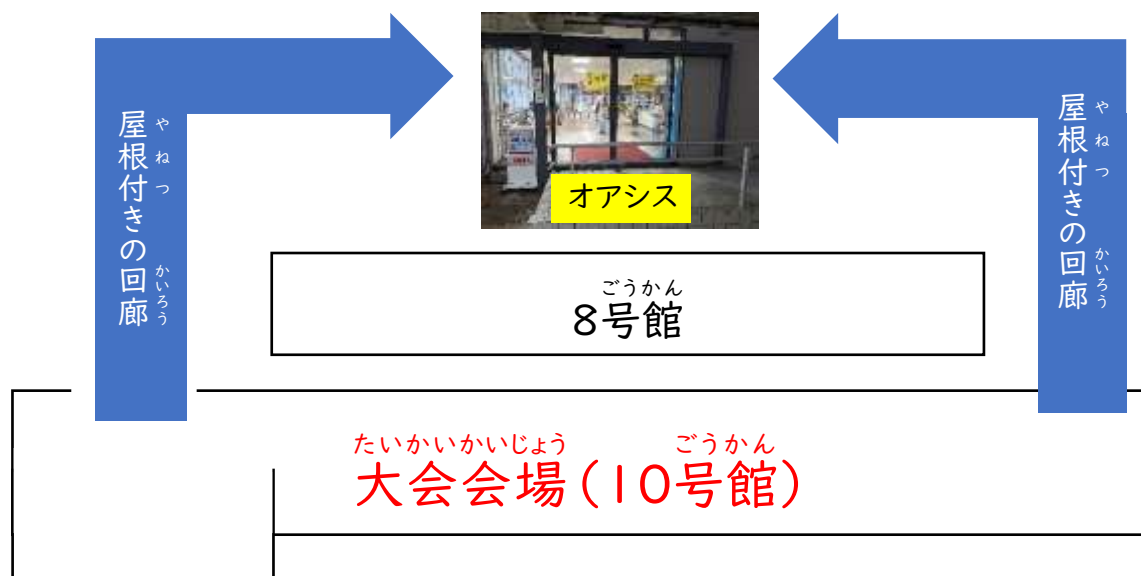
せいもん かいじょう ごうかん 正門から会場(10号館)までのアクセス



せいもん はい なみきみち ちよくしん つきあたり ひだり のぼ ごうかん げんかん
正門を歩いて並木道を直進。突き当たりを左へ。スロープを登ると10号館の玄関です。

せいもん ごうかん やく 250m しよう きょうしつ かい たもくてき
正門から10号館までは約250m。使用する教室はすべて1階です。多目的トイレあり。

かいいんきゅうけいじょ こうりゅうかい かいじょう みちじゆん 会員休憩所・交流会・ワークショップの会場(オアシス)までの道順



わあい ふあい あんない Wi-Fiの案内

がくない わあい ふあい えでゆろーむ だいがくとう そうごりよう かのう
・学内のWi-Fiは、eduroam(大学等において相互利用が可能なローミングサービス。

しよぞくきかん かめい ひつよう しようしかく しようほうほう かくじ
所属機関が 加盟している必要があります。使用資格や使用方法については、各自で

じぜん かくにん
事前にご確認ください)

えでゆろーむ しよう かつた もう わけ かくじ
・eduroamがご使用になれない方は、申し訳ありませんが、各自でルーターをご持参

いただくか、 けいたいでんわ など ないおう
いただくか、 携帯電話のテザリング等でご対応ください。

しょくじ の もの 食事・飲み物

がくない ばいてん しょくどう か ききゅうぎやうちゅう ないぎやう
・学内の売店と食堂は、夏期休業中のため営業していません。

じどうはんばいき かいいんきゅうけいじよ こうりゅうかいかいじよ
・自動販売機は、オアシス(会員休憩所/交流会会場)にあります。

せいもん めーとる
・正門から300 m のところにコンビニ(セブンイレブン)があります。

さんか さい ちゅういじこう オンライン参加の際の注意事項

ばあい さんか ひ むりよう じゅうぶん
・オンラインの場合は、参加費は無料ですが、十分なサポートはできません。

がっかい はいしん かくにん うえ さんか
・学会HPにてZOOMアドレスを配信します。確認の上、ご参加ください。

にゅうしつご なまえ しよぞく へんこう
・入室後にお名前とご所属がわかるように変更してください。

はつげん じ いが いじょうじ ねが
・マイクは、発言時以外常時オフでお願いします。

かくじ はんだん まか
・カメラは各自の判断にお任せします。

ろくが ろくおんなど きんし
・録画、録音等は禁止です。

はいふしりょう はっぴょうしゃ みと ばあく
・配布資料は、発表者が認めた場合は、チャットで共有します。

たい かい きかんちゅう れんらくさき
大会期間中の連絡先

だい かいけんきゅうたいかい げんちじっこういんかい
第8回研究大会 現地実行委員会 Jasbel2023@gmail.com

きんきゅうれんらくさき かいじょうこう そえだ
緊急連絡先 090-4448-8011 (会場校 添田)

最新の情報は、学会ホームページ内の大会情報をご覧ください。

基礎教育保障学会 <http://jasbel.org> 大会情報 <http://jasbel.org/taikai/>

9月2日(土)

【自由研究発表・実践報告】 9:30 ~ 12:30

* 共同研究発表の場合、○ 印が登壇者となります。

<第1室> (1013教室) 9:30~12:00

司会 岡田敏之(同志社大学)

☆実践報告

9:30~9:55

子どもの暮らしを家族で捉えるところから広がる支援の可能性

—「おおむた子ども支援ガイドブック」13回目の改訂から—

/ 江崎 文寿 (九州大学大学院人間環境学府)

☆実践報告

9:55~10:20

発達に課題のある小学生が「知ることへの楽しさ」から学習に取

組むために —放課後等デイサービスでの支援から見える子ども

たちの課題

/ 鈴木 章之 (障害児通所支援 心花すげ)

☆自由研究発表

10:20~10:45

ジェンダー視点から読み解く不就学と再就学

—韓国人ニューカマー移住女性のストーリーをもとに—

/ 川端 映美 (大阪大学大学院人文学研究科)

じ ゆうけんきゅうはっぴょう
☆自由研究発表

10:45~11:10 いみん こ きょういく し えん けん り うん どう じっせん ろんり
移民の子どもの教育支援と権利運動の実践・論理

/ せ と れい に ほん がく じゆつ しん こうかい とく べつ けん きゅう いん きょうと だいがく
瀬戸 麗 (日本学術振興会特別研究員PD(京都大学))

じ ゆうけんきゅうはっぴょう
☆自由研究発表

11:10~11:35 かんこく だいいんきょういくきかん かん ほうりつ せいかく せいてい いた
韓国の「代案教育機関に関する法律」の性格と制定に至るまで

ろんぎこうずぶんせき
の論議構図分析

/ せん みらん ひろさきだいがく
宋 美蘭 (弘前大学)

11:35-12:00 ぜんたいとうぎ
全体討議

<第2室> (1014^{きょうしつ}教室) 9:30~12:00

司会 宮崎 里司 (早稲田大学)

☆実践報告

9:30~9:55

夜間^{やかんちゅうがく}中学^{ぞうせつうんどう}増設^{かだい}運動^{えいが}の課題:映画『^{ぜんこく}こんばんはII』全国^{ぜんこく}キャラバン
を^ふ返^{かえ}り返^{かえ}って

/ ○ 澤井^{さわい}留^る里^り (夜間^{やかんちゅうがく}中学^{きょうい}と教育^{かた}を語る^{かい}会)

○ 関本^{せきもと}保^{やす}孝^{たか} (夜間^{やかんちゅうがく}中学^{きょうい}と教育^{かた}を語る^{かい}会)

○ 庄司^{しょうじ} 匠^{たくみ} (夜間^{やかんちゅうがく}中学^{きょうい}と教育^{かた}を語る^{かい}会)

ながおか ちずこ (田園^{でんえん}調布^{ちやうふ}学園^{がくえん}大学^{だいがく})

☆自由研究発表

9:55~10:20

(今^{いま}さら)「100^{けいさん}ます^{さいこう}計算^{けいさん}」について再^{さいこう}考^{こう}する 一^{こうりつ}公立^{りつしょうが}小学^{がっこう}校^{げんば}現場

の^{じったい}実態^{じったい}から一

/ 藤澤^{ふじさわ} 多^た津^づ子^こ

☆自由研究発表

10:20~10:45

学^{がくれい}齡^{ちやう}超^{たい}過^{とくべつ}者^{きょうい}に^{かてい}対^{ぶんせき}する「特別^{とくべつ}の教育^{きょうい}課^か程^{てい}」の分析

一^{きょうい}教育^{かてい}課^{だんり}程^{よく}の弾^{かせい}力^{さく}化^{ひとつ}政^や策^{かんちゅうがく}の一^かとして^のの夜間^{やかんちゅうがく}中^{ちゅう}学^{がく}

/ 長井^{ながい} 潤^{じゆん}平^{べい} (北海^{ほっかい}道^{どう}大^{だい}学^{がく}大^{だい}学^{がく}院^{いん})

じゅうけんきゅうはっぴょう
☆自由研究発表

10:45~11:35

こうこう にほんごしどう ひつよう せいと たい こうせい ひょうか
高校における日本語指導が必要な生徒に対する公正な評価と

しどうたいせい あ かた
指導体制の在り方

こじま よしみ とうきょうがいくこくごだいがく
/ ○ 小島 祥美 (東京外国語大学)

えの い ゆかり おおさかだいがく
○ 榎井 縁 (大阪大学)

たかはし せいじゅ にんてい ほうじんたぶん かきょうせいきょういく
高橋 清樹 (認定NPO法人多文化共生教育

ネットワークかながわ)

11:35-12:00

ぜんたいとうぎ
全体討議

<第3室> (1015^{きょうしつ}教室) 9:30~12:30 司会 上杉 孝實 (京都大学^{きょうとだいがく}名誉教授^{めいよきょうじゆ})

☆^{じっせんほうこく}実践報告

9:30 - 9:55 ^{じしゅやかんちゅうがく}自主夜間中学 ^{いっぽきょうしつ}はじめの一步教室 ^{とく}の取り組み ^{こうりつやかんちゅうがっこう}と公立夜間中学校

^{せっちうんどう}設置運動について

/ ^{ささやま えつこ}笹山悦子 (愛知夜間中学^{あいちやかんちゅうがく}を語る会^{かたかい})

☆^{じっせんほうこく}実践報告

9:55- 10:20 ^{さっぽろしりつせいゆうかんちゅうがっこう}札幌市立星友館中学校という公立夜間中学 ^{こうりつやかんちゅうがく}と札幌遠友塾^{さっぽろえんゆうじゅく}という

^{じしゅやかんちゅうがく}自主夜間中学 ^{きょうどう}との協働 ^{いぎ}と意義

/ ^{くどう けいち}工藤慶一 (北海道^{ほっかいどう}に夜間中学^{やかんちゅうがく}をつくる会^{かい}、

^{さっぽろえんゆうじゅくじしゅやかんちゅうがく}札幌遠友塾自主夜間中学)

☆^{じゅうけんきゅうはっぴょう}自由研究発表

10:20-10:45 ^{じしゅやかんちゅうがくうんどう}自主夜間中学運動 ^{ちいきかだい}における地域課題 ^こへのアプローチ

-1980年代^{ねんだい}の江東自主夜間中学^{こうとうじしゅやかんちゅうがく}における子ども会^{こかい}を事例^{じれい}に-

/ ^{はせがわ みり}長谷川実 (北海道大学^{ほっかいどうだいがくだいがくいん}大学院)

じゆうけんきゅうはっぴょう
☆自由研究発表

10:45-11:10 1970年代以降の夜間中学における学齢不登校児の受け入れ動

こうろんそうかんれきしできけんとう
向と論争に関する歴史的検討

/ えぐち さとし せつなんだいがく
江口 怜 (摂南大学)

じゆうけんきゅうはっぴょう
☆自由研究発表

11:10-12:00 リテラシーに関する調査方法の開発に向けた学際的研究

けんしじしゅやかんちゅうがくけんしこうりつやかんちゅうがくしこう
-A県B市の自主夜間中学とC県D市の公立夜間中学での試行パ

ちようさけっかふ
イロット調査結果を踏まえつつー

/ ○ のやま ひろし こくりつこくごけんきゅうじよ
野山 広 (国立国語研究所)

じようのうちのぶひと いっぽんしゃだんほうじん き そきょういくほしょうけんきゅうじよ
○ 城之内庸仁 (一般社団法人 基礎教育保障研究所)

おおやすきいち ぶんか
○ 大安喜一 (ユネスコ・アジア文化センター、

とうきょういりょうほけんだいがく
東京医療保健大学)

12:00-12:30 ぜんたいとうぎ
全体討議

【パネル展示(活動紹介)】 玄関ホール

岡山自主夜間中学校広報部における高校生・大学生が主体となった取組みについて

/ 白石奈津栄 (基礎教育保障研究所・岡山大学大学院 社会文化科学研究科)

【ワークショップ】 (オアシス) 13:00~14:20

多様な教育的立場から考える「市民リテラシー」の醸成

発表者: 宮崎里司 (早稲田大学)、奥村恵子 (明治学院大学)、齊藤真美 (日越大学)、

芹川佳子 (東京大学)、永岡悦子 (流通経済大学)、中野玲子 (すみだ日本語

教育支援の会)、山下千聖 (早稲田大学)、横山りえこ (早稲田大学)

目的:

1) 参加者が非母語話者の周囲に傍観者として存在する市民 (日本語教育や福祉の

専門家ではない人達) が「市民リテラシー (市民が目標言語の外言的なインターア

クション問題の解決に関わるだけでなく、共通の価値観を内言化し、社会で役割

参加するプロトコルを設定する上で不可欠な公共的教養: 宮崎、2011、p.95)」に

についての理解を深めること。

2) 市民に対する「市民リテラシー」の醸成について多様な教育現場で活動をしている

他者と共に考えることの2点である。

がいよう
概要:

げんだいしゃかい
現代社会ではグローバル化が進み、教育機関、地域社会、企業など様々な場面において、多様な言語や文化的背景を持つ人々と接する機会が増えている。日本社会においても、様々な価値観を持つ市民が共に生活をしている。しかし、異なる価値観を持つ市民同士が衝突してしまうこともある。全ての人々にとって居心地が良い多文化共生社会を創りあげていくためには、同じ社会で生きる人々が相互に尊重し、それぞれが心地よくいられる環境を築いていくことが重要である。多文化共生社会において個々人が身に付けておかなければならないものが「市民リテラシー」である。

ほんけんきゅう
本研究グループでは、これまで日本語教育の現場を中心に「市民リテラシー」を獲得、醸成するための活動を検討してきた。「市民リテラシー」は立場や視点が変わることと捉え方も変化する。本ワークショップでは、このような「市民リテラシー」の醸成にたいはたらかけを異なる教育現場で活動している方々と議論していきたい。

げんちこうきかく
【現地校企画 リレートーク】（オアシス） 15:30 ~17:30

ふくおか き そきょういく ささ じっせん
「福岡の基礎教育を支える実践リレートーク」

き そきょういくほしやうがっかいはつ きゅうしゅう かいさい げんちきかく ふくおか き そきょういく
基礎教育保障学会初の九州での開催の現地企画としまして、福岡の基礎教育を
ささ かん 6つ じっせん かいさい き そきょういく ほしやう
支える官・民6つの実践リレートークを開催します。ここでは、基礎教育を保障するため
ないやう き ぼ いち た き わた じっせん あつ
の内容や規模、位置づけなど、多岐に渡る実践が集まっています。それらの実践発表を
もとに、フロアのみなさんと実践についての意義や課題などを議論していきたいと思
います。そして、参加者同士の交流が深まり、明日からの実践にさらなる活力が湧いてく
るような場にしたいと思っています。ぜひ、みなさま奮ってご参加ください。

- うちだ ひさのり ふくおかしりつふくおか ちゅうがっこうちゅう
内田 久徳さん（福岡市立福岡きぼう中学校校長）
- きむら まさのぶ じしゅやかんちゅうがく ふくおか きょうしつきょうどうだいひょう
木村 政伸さん（自主夜間中学・福岡よみかき教室共同代表
きゅうしゅうだいがくめいよきょうじゅ せいなんじょがくいんだいがくきょうじゅ
／九州大学名誉教授／西南女学院大学教授）
- このもとみちはる 小野本道治さん（NPO 法人 SFD21JAPAN リ じちやう
理事長）
- かじたに ゆうこ てる はしやうがっこうきよてんこう
梶谷 優子さん（照葉小学校拠点校スクールソーシャルワーカー）
- くさば ゆういち にんてい だいひょうり じ
草場 勇一さん（認定 NPO 法人エデュケーションエキューブ代表理事）
- やまぐち まさよ こ おうえん じむきょく
山口 雅世さん（ふくおか子ども応援プロジェクト事務局）

こうりゅうかい
【交流会】（オアシス） 18:00~19:30

ねん 3年ぶりに飲食を伴う交流会の開催となります。会員間の情報交換や近況報告な
ど、対面での交流の機会を設けました。軽食代として参加費1500円（軽食あり）です。
の もの かいじょう かくじ こうにゅう どうだんしゃ はっぴょうしゃ とも こうりゅう
飲み物は、会場にて各自で購入するシステムです。登壇者や発表者の方々と共に交流
を深めたいと思います。皆様のご参加をお待ちしております。

9月3日(日)

【特定課題研究】(10号館 1011大教室) 9:30~12:00

多様なマイノリティにとってリテラシーとは何か？

趣旨:

リテラシーの獲得は生きるために極めて重要である一方で、特定の国家によって規格化・標準化されたリテラシー観を強制することにつながらないような配慮が必要である。日本社会においては、手を用いて日本語で読み書きができることがリテラシーの基本としてイメージされるが、日本語を母語・母国語としない、あるいは手話言語を用いる、点字などの触察ならば可能、手での読み書きは困難、読字障害があるなど、多様な人々が存在する。本シンポジウムでは、多様なマイノリティにとってのリテラシーの意味について当事者や支援者の立場から問題提起していただくことで、リテラシー観を問い直すことを目指したい。

どうだんしゃ
登壇者：

わたなべけんいち としょかん しみん かい さがみはら
渡邊健一さん(図書館と市民をつなぐ会・相模原)

「^き聞いて^{さわつ}触って^{しあわ}幸せがし」の^{どくしょ}読書^{してん}バリアフリーの^{かんが}視点から考えるリテラシー」

まえだひろし おおさか しゅうろうしえん
前田浩さん(大阪ろう就労支援センター)

「^{しゃ}ろう者の^{たちば}立場から^{かんが}考えるリテラシー」

きむとくみ ひがしおおさかしりつ ふ せ ちゅうがっこうや かんがつきゅう
金徳美さん(東大阪市立布施中学校夜間学級)

「^{ざいにちがいきこくじん}在日外国人の^{たちば}立場から^{かんが}考えるリテラシー」

コーディネーター： ^{えぐち さとし}江口 怜 (^{せつなんだいがく}摂南大学)

コメンテーター： ^{つだえいじ}津田英二 (^{こうべだいがく}神戸大学)

こくせいちょうさかつよう こうかいがくしゅうかい
【国勢調査活用プロジェクト公開学習会】

だいきょうしつ
(1011大教室) 13:30~15:30

こくせいちょうさ もち なに なに
「国勢調査データを用いて何ができる?何をすべき?」

しゅし
趣旨:

ねんど こくせいちょうさ かつきてき い み さいしゅうがくれき かいどう せんたくし へんこう
2020年度の国勢調査は、画期的な意味をもつ。最終学歴の回答の選択肢が変更
なつたこと、ぎむきょういくみしゅうりょうしやすう はあく ほんがつかい こくせい
になったことで、義務教育未修了者数が把握できるようになった。本学会では、国勢
ちょうさ かつよう かん ほっそく かい こうかいがくしゅう
調査データの活用に関するプロジェクトを発足させ、すでにこれまで3回の公開学習
かい じっし けんきゅうたいかい じ はじめて きかく こんかい ほん
会を実施している。研究大会時においては初めての企画となるので、今回は、本プロ
ジェクトの課題意識の共有し、今後の活動におけた意見交換を行うことを目的とする。

どうだんしゃ せきもとやすたか やかんちゅうがっこう きょういく かたるかい
登壇者: 関本保孝 (夜間中学校と教育を語る会)

こくせいちょうさ 「しょうがっこうそつ」しんせつ うんどう
「国勢調査の『小学校卒』新設までの運動」

うすいたけひろ そうかだいがく
碓井健寛 (創価大学)

こくせいちょうさ き そきょういくほしょうがく
「国勢調査と基礎教育保障学」

いなづきただし きたきゅうしゅうしりつだいがく
コメンテーター: 稲月正 (北九州市立大学)

じしゅ やかんちゅうがく せいかつこんきょうしや しえん たずさ しゃかいがくしや
自主夜間中学や生活困窮者支援に携わる社会学者。

コメンテーター： たきたまさひろ 田北雅裕 きゅうしゅうだいがく（九州大学）

デザイン学がくの知見ちけんから福祉ふくしこうほう広報しゃかいや社会かいけつ課題とくの解決とくに取り組む。

司 会 : そえだよしふみ 添田祥史 ふくおかだいがく（福岡大学）

き そきょういくほしょうがっかい けんきゅうたいかい いんかい いんちよう なおか ちずこ
基礎教育保障学会 研究大会委員会委員長 長岡 智寿子

けんきゅうたいかい じっこういんかい きむらまさのぶ たいかいじっこういんちよう
第8回 研究大会 実行委員会 木村政伸 大会実行委員長

そえだよしふみ かいじょうこう だいひよう
添田祥史 会場校 代表